

○平成28年度第1回つくばみらい市総合教育会議

- 1 日時 平成28年6月15日(水) 午前10時30分から
- 2 場所 つくばみらい市役所伊奈庁舎 3階 大会議室
- 3 出席委員 つくばみらい市長 片庭 正雄
 教育委員長 中島 正志
 職務代理者 久下 伸子
 委員 直井 修三
 教育長 石塚 眞典
- 4 欠席委員 委員 八島 秀仁
- 5 出席職員 教育部長 井波 進
 学校教育課長 飯泉 勝宏
 生涯学習課長 木川 眞
 学校教育課課長補佐 小林 弘幸
 教育指導室指導室長 長塚 和徳
 学校教育課主査 石引 智宏
 学校教育課主幹 尾林 大悟
- 6 傍聴人 なし
- 7 協議・調整事項 (1) つくばみらい市教育大綱について
 (2) その他
- 8 議事

飯泉学校教育課長 片庭市長	【平成28年度第1回つくばみらい市総合教育会議開会宣言】 【あいさつ】 (1) つくばみらい市教育大綱について
石引学校教育課主査	【事務局から教育大綱について説明】 【委員からの質疑応答及び意見等】
直井委員	基本理念にある「一人ひとり」という文言ですが、県の目標などに載っているのは「一人一人」となっているので、「一人一人」でもいいと思います。また、「子ども」や「子どもたち」という文言が使われていますが、国、県などは「子どもたち」が使われています。ちなみに茨城県の教育プランも同様です。できれば、「子どもたち」に統一したほうがいいと思います。
久下委員	平仮名で書いてあることもあります。漢字で書くことの方が多いいのかと思います。と同時に、2回目の「ひとり」がなぜ「ひとり」と平仮名になるのか大いに検討に値するものと考えます。
中島委員長	特にこだわりはありませんが、平仮名の方が広がりを持たせることができるとは思います。
石塚教育長	平仮名を使うことでやわらかみも出せると思います。

飯泉学校教育課長	公文用語等における仮名使いでは、直井委員のおっしゃられたように「一人一人」を使うものではありませんが、やわらかみを持って「一人ひとり」としております。
長塚教育指導室長	教育指導室では、学校の先生方へいろいろな場面で国、県の教育方針等を説明しておりますが、そのときには、やはり「一人一人」の表記となっています。市の方の基本方針が「一人ひとり」の表記となるとダブルスタンダードとなり、説明が難しくなるため学校現場の先生方へ説明する場合には「一人一人」が効率的で説明が付きやすいと感じています。
片庭市長 飯泉学校教育課長 片庭市長 飯泉学校教育課長	これは誰を対象として配布するのですか。 議員、教育委員、保育所、幼稚園、小中学校と部長、各課へ配布予定です。配る相手というのは先生方ということですか。 先生方ではなく各学校へ1冊ずつ配布します。全戸配布ではありません。あとは、ホームページで広く公開します。
片庭市長	これは本物ではないですよ。もっと分厚い紙で作成するんですよ。何枚作るのですか。
飯泉学校教育課長	紙質は変わります。大綱の内容と三つ折のスタイルは変わりません。作成部数は120から150を想定しています。
石塚教育長 片庭市長	本来であれば全戸配布するものかと思います。 作ったものは広く見ていただくことが大事かと思います。その中で、広く市民へ見せる場合は、「一人ひとり」を使った方がいいかと思いますが、先生方だけに配るのであれば国、県で定まっている「一人一人」がいいと思います。配る対象によって変わってきてしまう。
久下委員	基本理念の中で、家庭・学校・地域と載っていますので、広く伝わっていくように、今回はできなくても、将来、やはり検討していただくことが大切なのではないかと思います。
井波教育部長	今後、幅広い周知方法について検討していきます。
久下委員	配布はいつごろになりますか。結論を今日出さなければいけないですか。
石引学校教育課主査	配布は9月を予定しております。本日、この会議で協議・調整いただいた内容に修正させていただき、市民の方々に対しましては、パブリックコメントを約一ヶ月予定しています。
片庭市長	期間はいつからいつまでですか。
石引学校教育課主査	7月中を予定しております。そのパブリックコメントで市民の方からいろいろな意見があると思いますので、その内容に基づいて、次回8月にもう一度会議を開かせていただき、協議調整をいただく予定です。そこで決定したものを9月には告示という流れで進めさせていただきたいと考えております。

片庭市長	ということは、今日結論を出さなければいけないですね。家庭や地域に配布しないとすると、この教育大綱は先生方が見て、PTAの方などにPRするしかないと思いますが、先生方は子どもの教育に邁進しているので、PRは難しいですね。
石塚教育長	学校でのPRは難しいと思いますが、学校に届けばコピーして職員やPTA等には配ると思います。
片庭市長	実際には、常時置いて皆さんが見るものと、先生方や地域に配布することになりますね。教育というのは、家庭・学校・地域で育むと言っているが、 「何の連絡も地域にありませんよ」、「家庭にありませんよ」ではよくないと思うので、各家庭につくばみらい市の教育はこうだということをお知らせすることは大事だと思います。これを全世帯に配ることを考えてもいいのではないのでしょうか。
直井委員	それぐらいの価値はありますね。
中島委員	なかなかそこまで配るのが難しいというのであれば、行政協力員の方へ協力していただき、回覧で配布するという方法もありますね。
片庭市長	回覧という方法もありますが、私個人としては教育大綱については、皆さんに持ってもらうのが一番ではないかと思います。確かに回覧すれば部数は少なくてすみませんが、部数や配布方法などについて今日結論を出さないといけないですか。
井波教育部長	配布方法や配布場所については、まだ時間はありますので、事務局において全戸配布に向けての配布の仕方、時期、予算等について精査をさせていただき、次の総合会議のときにお知らせし、ご協議いただく形で進めさせていただくということによろしいのでしょうか。
片庭市長	パブリックコメントの中には、「各家庭に配布します」とか、「各学校に配布します」とかは入れないのですか。
井波教育部長	公表の仕方はいろいろあると思いますが、基本的には公表するとなっておりますので、事務局において予算等もありますので精査させていただき、次の機会に案を示させていただきたいと思います。
片庭市長	そうすると「一人ひとり」か「一人一人」なのか、どちらを取った方がいいですかね。ホームページでも周知するという事は広く市民へ配布することになると思うので、わかりやすく「一人ひとり」を取りたいと思います。次に直井委員からありました、「子ども」と「子どもたち」の違いについて事務局の説明をお願いします。
石引学校教育課主査	この違いについては、国、県の基本方針を参酌しております、国の基本方針の場合は「子ども」、県の基本方針の場合には「子どもたち」としております。
中島委員	私は、原案に出されている、それぞれの文章の流れでいくとこれでいいかと思います。

久下委員	「子ども」と言う「ども」という中には、ある程度複数的な意味も入っているように思いますが、原案通りでも十分意味は通じると思います。
石塚教育長	全部で7箇所ありますが、「たち」を入れてもおかしくないと思いますので、私は揃えた方がいいと思います。「たち」を入れないとニュアンスとしては、子どもだけとなるように思います。
中島委員	原案にある、「子どもの心身」、「子どもの体力」という個人それぞれのという意味で使い分けた方がいいと思います。
直井委員	基本理念の内容の中にある文章で、下から5行目の「子ども」は原案通りでいいかと思いますが、基本目標に入っている「子どもたち」は、子ども一人一人を指していると思うので、これはすべて、「子どもたちの」という言い方をした方がいいのではないかと思います。
久下委員	県や国を参考に作成されていると思いますが、県などはどのようになっていますか。
飯泉学校教育課長 片庭市長	県は「子どもたち」、国は「子ども」となっております。市独自で使っていきましょう。文章によって「子ども」、「子どもたち」と使い分けている原案通りでよろしいでしょうか。
中島委員長 片庭市長	説明ができるようにしていれば、原案通りでいいかと思いますが、原案通りで進めていくこととします。
中島委員長	基本理念、基本目標とありますが、市の教育大綱として、それぞれの内容における背景を我々自身がしっかりと理解しなければいけないと思います。一つ思い当たることがありまして、基本理念の部分の上から7行目にある、「一人ひとりが、皆、より良い教育環境の中で、自ら進んで学ぶことができるように」というものが目標の中ではどのようになっているのか、いろいろ全部入っているとは思いますが、目標1では特に「特別支援教育の充実やさまざまな教育」だったり、目標2では、3項目目の「学校や地域のなかで心身ともに安心して成長できる」、目標3では「子どもの成長に資する教育環境の公平性の思い」などは本市の場合、どうゆう背景で出てきているのかなどがあるかだと思います。一つ一つの項目に対する背景として、どこからその項目が出てきたのか把握しなければいけないと思っております。一人一人抱える事情、背景、これがものすごくあると思うので、この大綱を見たときに、このような問題を抱えている保護者は、自分の子どもはこの中のどこに組み込まれているか感じると思います。そのときにそれに応える、納得させるだけの我々の説明をしっかりとしておくことが大事かと思えます。
久下委員	具体的にお示しはできないんですが、つくばみらい市としての独自性を出せればいいなと思いました。やや一般論すぎるのではないか。何を持って独自性とするかは、皆さんで話し合っていけたらいいと思います。

片庭市長 飯泉学校教育課長	私も賛成でつくばみらい市の独自性を出すべきだと思います。今回は、時間がなくなってしまったので、再度日程調整し、集まりたいと思います。今の独自性については大事だと思うので、委員の皆様と考えていただいて、パブコメを出す前に集まりたいと思いますのでよろしくお願いします。 【平成28年度第1回つくばみらい市総合教育会議閉会宣言】
----------------------	---

上記決議を明確にするため、本議事録を作成する。

平成28年6月20日

市長 片庭 正雄

教育長 石塚 眞典